

平和祈念事業アドバイザーボード（第11回）議事要旨

1 日 時：平成25年6月11日（火）14：00～16：00

2 場 所：東京都千代田区霞が関2-1-2
総務省（合同庁舎第二号館） 6階 601会議室

3 出席者：（委員）

◎ 亀井 昭宏（早稲田大学名誉教授）

○ 杉浦 力（財団法人能率増進研究開発センター理事長）

黒沢 文貴（東京女子大学現代教養学部国際社会学科国際関係専攻教授）

田久保忠衛（杏林大学名誉教授）

水嶋 英治（筑波大学図書館情報メディア系教授）

[敬称略、◎は座長、○は座長代理]

（総務省）

田家 修 官房審議官

加瀬 徳幸 管理室長

阿南 哲也 管理室企画官

4 議事次第

（1）「平成24年度平和祈念事業実施結果報告」についての説明

（2）「平成25年度平和祈念事業委託業務のポイント」についての説明

（3）「平成25年度平和祈念事業計画（案）」についての説明

5 議事要旨

（1）「平成24年度平和祈念事業実施結果報告」についての説明

24年度事業者から「平成24年度平和祈念事業実施結果報告」について説明後、意見交換が行われた。

（2）「平成25年度平和祈念事業委託業務のポイント」についての説明

資料に基づき、事務局から「平成25年度平和祈念事業委託業務のポイント」について説明が行われた。

（3）「平成25年度平和祈念事業計画（案）」についての説明

24年度事業者から「平成25年度平和祈念事業計画（案）」について説明後、意見交換が行われた。

委員の主な発言等は以下のとおり。

- 語り部について、話す環境や雰囲気等を工夫することにより、臨場感が加わり、より効果的に体験談が伝わるのではないか。また、語り部を始めとした、資料のデジタルデータを公開し、利用ができるようにしてほしい。
- 展示解説について、若い世代の場合は、展示を見ても理解できないことが多い。話し掛けて説明ができるような機会の提供をより増やし、関心を高めてもらうようにしてもらいたい。また、展示解説をさらに充実させるため、音声ガイドの導入を推進してもらいたい。
- 資料の管理・保管について、デジタル化も進んでいるようだが、全ての資料のあらゆる情報を入れ込んだ、紙ベースの総合目録を1冊作ることも検討してもよいのではないか。
- 20代以下の若い来館者の声をオーラルヒストリーとしてまとめ、将来につなげていくことも館の役割の一つだと思う。
- 高校生をはじめとした学生の集客を図るためには、修学旅行などで、関係施設を訪れている学校を調べて働きかけを行うとよいのではないか。